

<「再び子育て、そして親育て」期：「『いまどきの親は』なんて言わない」編 - 3 >

対象(時間): 中高年などの子育て支援者(120分程度)

## かかわってみて... ~つくろう, 子どもの体験の場~

【ねらい】子どもの豊かな成長を促す体験の場をつくるために、自分には何ができるかを考える。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札、ワークシート、アンケート用紙、(模造紙、付箋、フェルトペン(裏写りしないもの))

時間	アクティビティの展開例	留意点	備考
:	名札付け(来た順に)	全員が名札をつける。(ニックネーム可)	
(5分)	ファシリテーター(学習支援者) 自己紹介, 主旨・ルール等説明	和やかな雰囲気づくりに配慮する。 写真を撮る場合は、予め了解を取る。(肖像権) 三つの約束(発言の平等, 人の発言を肯定, 秘密の保守), ただし、言いたくないことは発表しなくてもよい。(パス有り)	スケジュールを板書しておく。 ・机は講義形式
(15分)	<b>アイスブレイク(雰囲気づくり)</b> へびじゃんけん 出会った人と握手して自己紹介 じゃんけんをして、負けた人は勝った人の背中に付く。 二匹の長いへびになったら、全体に聞こえるように自己紹介して、決勝じゃんけん。 先頭から番号をかけ、グループ分け。	コミュニケーションに関わるゲームを通して、人間関係作りに大切なことを体験的に考える。 「月 日生まれの  です」と、簡単に自己紹介了解を取って、前の人の肩に手をかける。  長い一列になったら、念のため、先頭の人と最後尾の人にじゃんけんをしてもらってもよい。 グループ内で自己紹介をしている間に、ワークシートを配付する。	・机を撤去  ・グループ数に応じて、机を配置
(12分)	<思い出しましょう> P2 上 設問に記入し、意見交流	社会環境の違いについて気づききっかけとする。 (付箋を使って発表すると多くの意見が出され、考えの共有もできる。)	
(5分)	<エピソードを読みましょう> P2 まず各自で黙読する。 次に配役を決めて音読する。	場の情景が思い浮かぶまで読みこむ。 登場人物の気持ちを考えるきっかけにする。子ども役の人に、音読後感想を聞くことも効果的。	
(3分)	ワークシートの記入 P2 下 今の子どもたちの遊び場をあげる。	子どもの遊び場を自由に挙げることで、子どもに関する環境について考えるきっかけとする。	
(12分)	意見交流 書いたことを発表し合う。 フリートーキング	付箋を使って発表後、「昔の遊びの環境」と比較することもできる。 3ページ下の資料の説明をする。	
(3分)	ワークシートの記入 P3 上 あなたがさとしさんなら、子どもたちになんと答えますか。	子どもを取り巻く環境の変化に共感するとともに、主体的に考える意欲を育てるきっかけとする。	
(12分)	意見交流 書いたことを発表し合う。 フリートーキング		
(3分)	ワークシートの記入 P3 中 あなたには何ができるでしょうか。	3ページ中央の説明文を黙読し、ファシリテーターの読み上げを聞く。	
(30分)	意見交流 意見発表し、各グループで話し合われたことを、全体で交換する。	各グループ内で意見交換をする。(付箋を使って模造紙に分類して貼り付けるとわかりやすい。) 参加者の環境が異なっているため、できることの違いがあるが、否定せず受け入れる雰囲気をつくる。	
(15分)	<学習を振り返りましょう> ワークシートへの記入 ファシリテーターの話		
(5分)	終了・片付け アンケート記入	参加者全員で行う。 アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰
メモ			